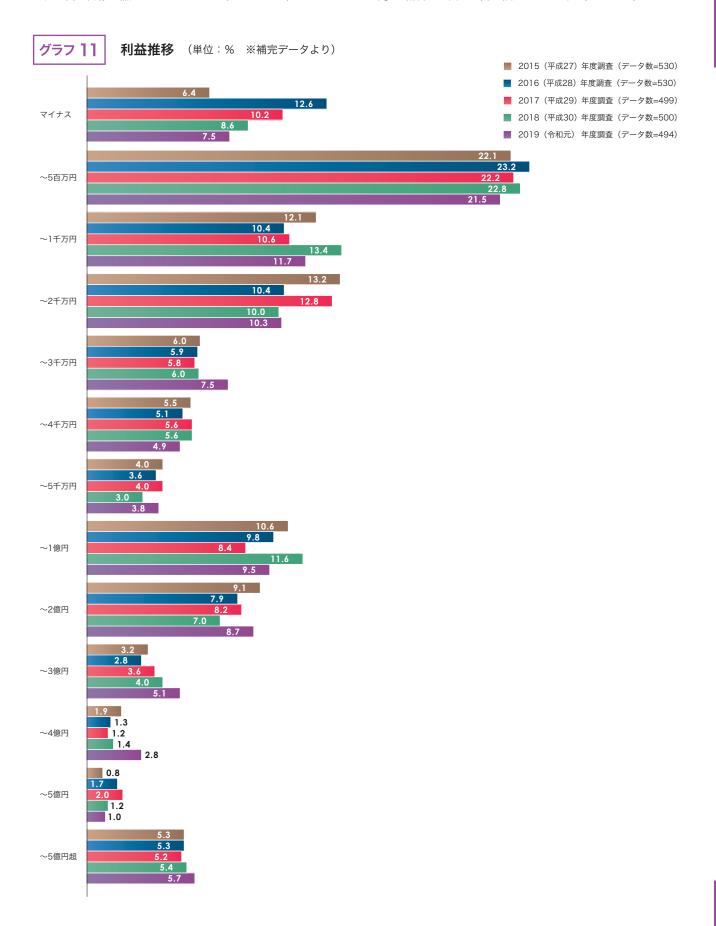
■利益

売上高と同様に補完データより2015年から2019年の5ヵ

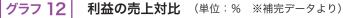
年の利益金を確認したところ、5年間を通じて「500万円以下」の割合が突出して高い傾向であった。(グラフ11)

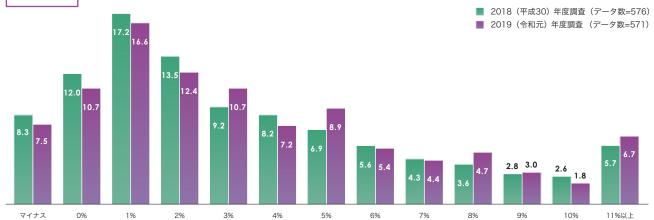


■利益の売上対比

補完データより利益を売上対比で確認したところ、昨年調査同様、「1%」(16.6%)が最も高い。

また昨年調査と比較すると「5%」が2ポイント上昇した。 (グラフ12)



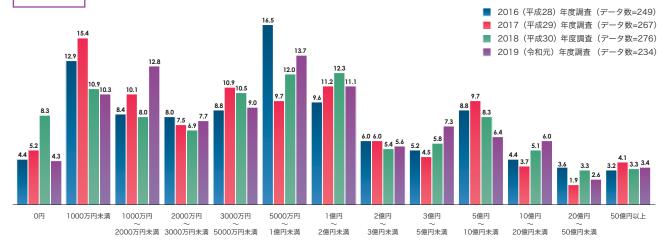


■設備投資額

本調査では、レンタル・リース物件の設備投資について確認している。

「5000万円超1億円未満」(13.7%)の割合が最も高く、昨年から約5ポイント上昇した「1000万円超2000万円未満」が12.8%でこれに続く。(グラフ13)

グラフ 13 設備投資 (レンタルリース物件) (単位: % ※有回答絞り)



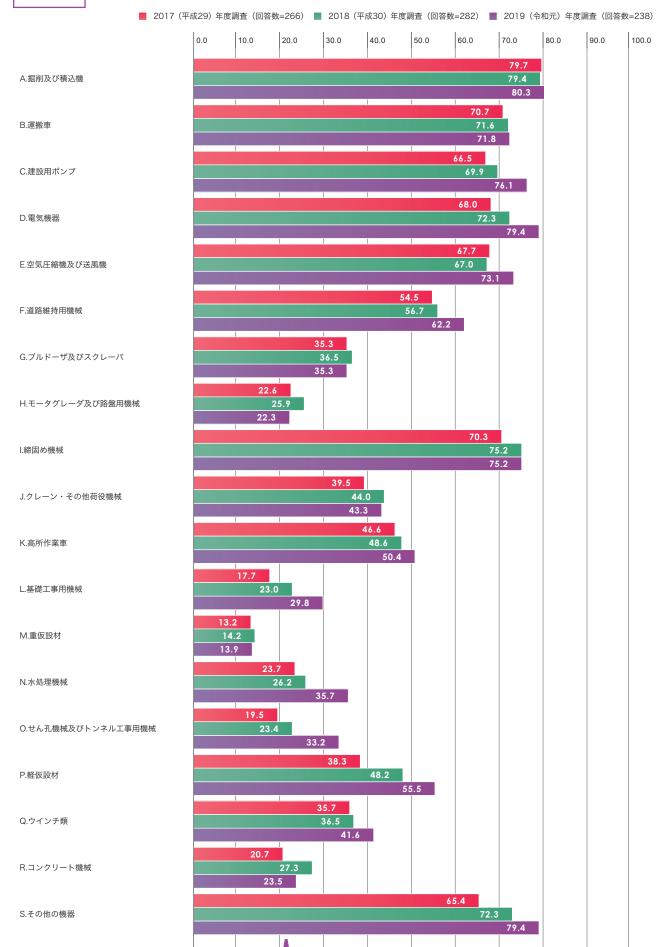
(3)機材の保有状況と貸付部門売上高に占める 保有機械・機材の売上高割合(中分類)

各社の建設機材について、19種類に分類した中分類ベースでの機材の保有状況<グラフ14>と貸付部門売上高に占

める保有機械・機材の売上高割合<グラフ15>を確認した。 保有状況<グラフ14>では「掘削及び積込機」が80.3% で昨年同様に最も多く、次いで「電気機器」(79.4%)、 「その他の機器」(79.4%)、「建設用ポンプ」(76.1%) となった。

グラフ 14

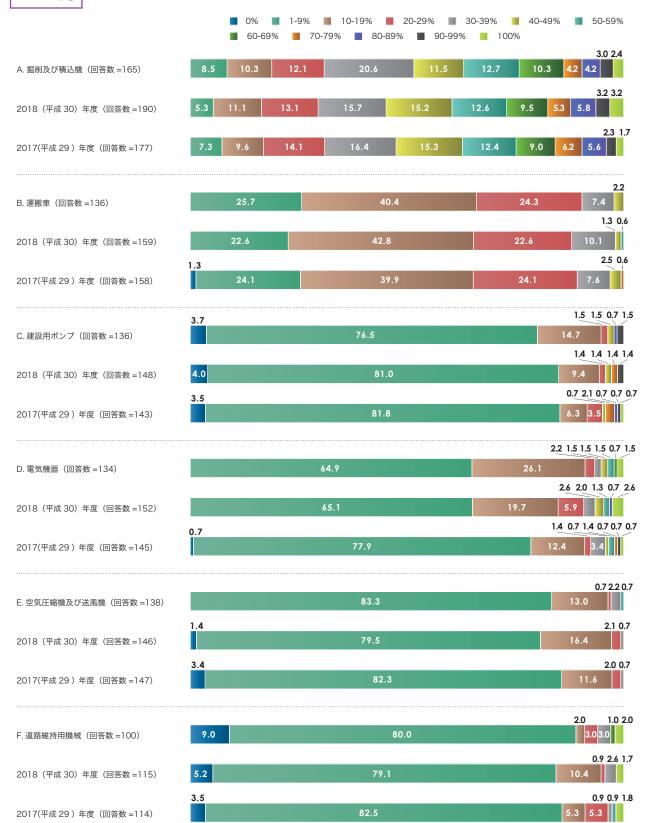
機材の保有状況 (単位:% ※有回答絞り、複数回答)

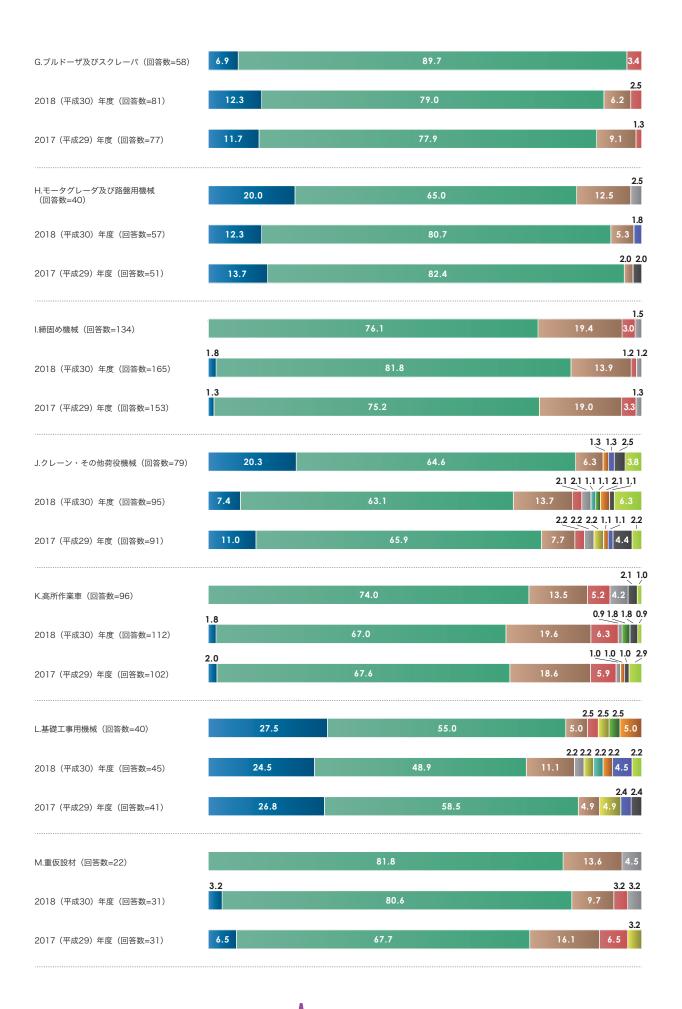


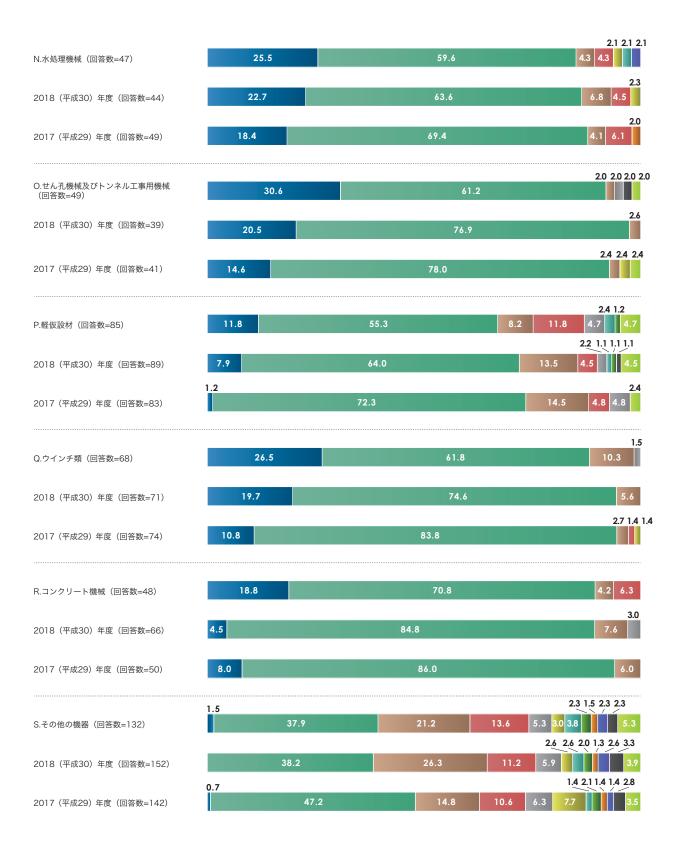
また、貸付部門売上高に占める保有機械・機材の売上高割合くグラフ15>では「掘削及び積込機」では30-39%、

「運搬車」では10-19%が最も多い結果となっているが、それ以外の機械・機材では1-9%が最も多くなっている。

グラフ **15** 貸付部門売上高に占める保有機械・機材の売上高の割合 (単位: % ※有回答絞り)



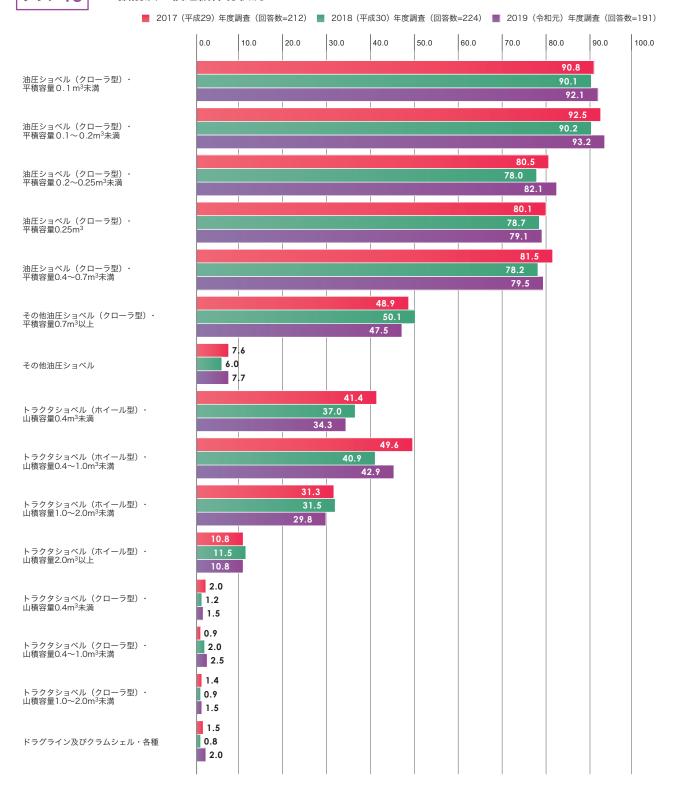




(4)機材の保有状況(細分類)

以下は204項目の細分類の各機材の保有状況について示し

ている。あくまで保有の有無の状況であり、台数や個数について示しているものではない点に注意されたい。(グラフ16~グラフ34)



グラフ 17

B.運搬車保有状況 (単位:% ※有回答絞り、複数回答)

